

若松孝二 生誕80年祭!

公式サイト www.wakamatsukoji.org

俺が死んでも映画は残る。
映画に時効はない。



3月26日～ポレポレ東中野にて、 監督作&プロデュース作25作品一挙上映!

全トーク(27日宮台さんトークを除く)、後期若松組の常連俳優・大西信満さんがホストとしてディープに攻めます!

3月26日(土) 12:50~
生誕80年祭オープニング特別企画!

鏡開き/日本酒でみんなで献杯!
(お客様にも小さなコップでお配りします)

「若松孝二を語ろう」

ゲスト:足立正生さん、小水一男さん、秋山道男さん、高間賢治さん、福岡健二さん、白石和彌さん、辻智彦さん、大西信満さん
[実録・連合赤軍]上映後トーク
坂井真紀さん、辻智彦さん、大西信満さん

4月1日は
若松孝二バースデー!

	3/26(土)	3/27(日)	3/28(月)	3/29(火)	3/30(水)	3/31(木)	4/1(金)
メイン	12:50~ 生誕80年 オープニングセレモニー 鏡開き 日本酒でみんなで献杯! (お客様にも小さな コップでお配りします)	ゆけゆけ二度目の処女 (35mm)	新宿マッド(35mm)	毛のはえた拳銃(BD)	夜にほほよせ(BD)	裏切りの季節(BD)	性犯罪(BD)
	トーク 『若松孝二を語ろう』 ★足立正生、小水一男、 秋山道男、高間賢治、 福岡健二、白石和彌、 辻智彦、大西信満	★上映後、宮台真司トーク 『若松作品・鑑賞のツボ ここにあり!』	14:30~ 性犯罪(BD)	14:20~ 性家族(BD)	14:20~ 日本暴行暗黒史 復讐鬼(BD)	14:30~ 壁の中の秘事(DVD)	14:30~ 処女ゲバゲバ(35mm)
			16:10~ 新宿マリア(35mm)	16:00~ 性賊/セックスジャック (DVD)	16:00~ 天使の恍惚(35mm)	16:20~ 理由なき暴行(DVD)	16:00~
	14:15~ 実録・連合赤軍 あさま山荘への道程(BD) ★坂井真紀、辻智彦、 大西信満 『山岳ベースでの日々』	15:30~ 水のないプール(35mm) ★内田裕也、大西信満 『オヤジ・若松孝二』	17:40~ 天使の恍惚(35mm)	17:30~ キャタピラー(BD)	17:50~ 狂走情死考(DVD)	18:00~ 犯された白衣(35mm)	16:00~ 実録・連合赤軍 あさま山荘への道程(BD) ★井浦新、渋川清彦、 大西信満 『若松孝二と若者たちpart1』
			19:30~ 千年の愉楽(BD) ★佐野史郎、大西信満 『若ちゃんとの仕事』	19:30~ エンドレスワルツ(35mm)	19:30~ 寝盗られ宗介(35mm) ★原田麻由、大西信満 『父・芳雄とカントク』	19:30~ 飛ぶは天国、 もぐるが地獄(35mm) ★白石和彌、井上淳一、 三宅隆太、大西信満 『若松プロってなんだ?』	20:00~ 11.25自決の日 三島由紀夫と若者たち(BD) ★井浦新、渋川清彦、 大西信満 『若松孝二と若者たちpart2』
レイト	21:00~ エンドレスワルツ(35mm)	21:00~ 寝盗られ宗介(35mm)	21:00~ 水のないプール(35mm)	21:00~ キスより簡単(35mm)	21:00~ 毛の生えた拳銃(BD)	21:00~ 裏切りの季節(BD)	21:00~ 夜にほほよせ(BD)

★印はトークイベント



『壁の中の秘事』

1965年/75分/脚本:大谷義明(曾根義忠、吉沢京夫)/撮影:伊東英男
閉塞的な団地の空間で、覗き見する浪人生が狂気を爆発させる。既存の左翼政党の挫折と類縁を暴きだし、混乱した時代状況を事実に提示。ベルリン国際映画祭に正式出品され、国粋映画として非難され外交問題に発展。

『犯された白衣』

1967年/57分/撮影:伊東英男/出演:唐十郎、小柳ゆ子、林美樹
1966年に起きたシカゴ看護婦連続殺人事件に着想を得た。アンダーグラウンド演劇運動の旗手であった状況劇場・唐十郎の即興的な演技をいかすために長廻しを多用、映画と演劇が越境する可能性を示した。

『性犯罪』(未ソフト化)

1967年/74分/脚本:出口出(足立正生・沖島勲)/出演:吉沢健、高月美夜、瓜生良介、山谷初男、佐藤重臣、福岡健二
誤って友人を殺した男とその彼女の逃避行。ヌーベルバーグのような映画を撮ったと若松は語る。男女の逃避行やダイナマイトなど、同年日本公開の『狂乱ビエロ』と類似点が多い。

『日本暴行暗黒史 復讐鬼』

1968年/72分/脚本:出口出(足立正生)/出演:吉沢健、津島明子、田口一矢、関成夫、村岡五郎、津崎公平、若松孝二が描く『津山三十人殺し』。どかな山村の風景とそこで繰り広げられる惨劇の対比が圧巻。憂鬱なテーマソングと兄に助ける求める妹の叫び声が脳内にこだまする。

『狂走情死考』

1969年/72分/脚本:出口出(足立正生)/撮影:伊東英男/出演:武藤洋子、吉沢健、美湖ひろみ
全共闘活動家の男と夫を撃ち殺してしまった義姉とが、愛を確かめ合いながら北への逃避行を続け、生まれ故郷に辿り着く。新宿騒乱のドキュメントと、激しい吹雪のなかの彷徨は圧巻。



『ゆけゆけ二度目の処女』

1969年/65分/脚本:出口出(足立正生)/出演:小塚ミミ、秋山未痴汚(道男)
屋上で男達に犯された少女と出会った少年は、夜明けに少女の後を追う。中村義則の独特な詩の世界をアレンジした足立正生の脚本、秋山道男の作曲、快演によって生まれた異色のラブストーリー。
★3/27宮台真司トーク

『処女ゲバゲバ』

1969年/66分/脚本:出口出(大和屋竺)/撮影:伊東英男
男女が処刑の儀式のために荒野へと連行されるが、生き延びた男は殺人ゲームに興じるボスたちを逆に皆殺しにしていって、御殿場の荒野を密室に見立てた。『処女ゲバゲバ』というタイトルは大島渚によって命名された。

『理由なき暴行』

1969年/72分/脚本:出口出(坂部俊高)/出演:村岡博、坂口俊正、城一也
貧乏でモテない19歳の男三人組が、狭いアパートの一室で自らを蔑み、金持ちや社会、学生運動までを激しく呪いながら、強姦、覗き、盗み、ナンパを繰り返していき。どこにも行けないもどかしさが爆発した青春映画。

『新宿マッド』

1970年/66分/脚本:出口出(足立正生)/撮影:伊東英男/出演:谷川俊之
フーテンの息子を内ゲバで殺された父親が、九州から単身上京し息子を殺した『新宿マッド』を探し求める。生活の側から運動組織を批判した。当時の生きた新宿の風景を知る意味でも貴重な映画である。

『性賊/セックスジャック』

1970年/70分/脚本:出口出(足立正生)/撮影:伊東英男/出演:秋山未痴汚(道男)、世原茂夫、須藤勝山、山川未知
『よど号』事件の7年後を舞台に、第2のハイジャックに向けて潜伏する活動家と、憎悪を抱えながら生きるアナキーな下層労働者のテロリズムが対比的に描かれる。



『性家族』

1971年/68分/脚本:出口出(足立正生)/撮影:伊東英男/出演:香取環
家長として君臨する封建的な父とそれに従うしかない息子達。しかし母の死をきっかけに息子たちの反乱が始まり家族が崩壊してゆく。父の権威に反抗した若松らしい作風。『ピンク女優・第一号』と呼ばれた香取環が出演。

『天使の記憶』

1972年/89分/脚本:出口出(足立正生)/出演:吉沢健、横山リエ
米軍基地を襲撃する革命軍・四季協会。の十月組は作戦に失敗し組織の再編を迫られる。孤立したメンバーは、爆弾を手に個的な闘いを展開。『無差別テロ』を助長する映画画として、上映反対運動が巻き起こった過激作。

『新婦マリア』

1975年/67分/脚本:出口出(高橋伴明)/撮影:伊東英男/出演:中島葵
新宿で体を売る女性マリアら新宿の売春婦を追う女性記者。マリアが男と同様を始めたことから事態は思わぬ方向へ。新宿を舞台にした売春婦の物語。全編に流れるパレストチナムミュージックが印象的な作品。

『水のないプール』

1982年/103分/脚本:内田栄一/出演:内田裕也、MIE、中村れい子
クロロホルムによる性犯罪を通して、都会の狂気を描く大人のメルヘン。内田裕也を主演に、原田芳雄、MIE、沢田二、タモリ、赤塚不二夫が意外な役どころで出演する。
★3/27内田裕也、大西信満

『キスより簡単』(原作:石坂啓)
1989年/94分/脚本:小水一男/音楽:ジョー山中/出演:原田芳雄
4人姉妹の3女であるまこ。自由奔放に生きた母亡き今、自分の父親が誰なのか分からない。父親かもしれない男の1人ロク(原田芳雄)に恋心を寄せていき……。原作と異なりロクの存在感が際立つ若松孝二の異色作。



『隠された宝』

1992年/106分/脚本:つかこうへい/出演:原田芳雄、藤谷美和子、寛利夫、山谷初男、佐野史郎
若松作品には珍しく暴力もエロスも抑えたコメディ作品。すぐに駆け落ちする妻を見守る男の愛。特に原田芳雄『愛の賛歌』の絶唱は必見。
★3/30原田麻由、大西信満

『エンドレス・ワルツ』(原作:稲葉真弓)

1995年/102分/出演:広田玲央名、町田町蔵、相楽晴子、佐野史郎
僅か29才でこの世を去った実在の天才的サクソフ・プレイヤー阿部薫と、女優かつ小説家として激しく生き抜いた鈴木いづみ。この2人の愛憎と性と性を濃密に描く。

『飛ぶは天国、もぐるが地獄』

1999年/70分/脚本:高取英、出口出/出演:小野麻亜衣
雪山で遭難したバスの乗客たちの一夜を描くホラー・ファンタジー。『目の前人間は本当に生きているのか?』という若松孝二の感覚は後の『海燕ホテル・ブルー』の梨花につながる。
★3/31白石和彌、井上淳一、三宅隆太、大西信満

『実録・連合赤軍 あさま山荘への道程』
2008年/190分/脚本:坂井真紀、並木愛枝、地曳豪、ARATA、大西信満
あさま山荘へと至るあの激動の時代をどうしても残したいと、自ら費用を捻出して製作に踏み切った。若い俳優陣と格闘し、時代を鮮烈に描き出した魂の傑作。
★3/26坂井真紀、辻智彦、大西信満
★4/1井浦新、渡川清彦、大西信満

『キヤバヒラー』

2010年/84分/脚本:黒沢久子、出口出/出演:寺島しのぶ、大西信満
戦争の悲劇は戦場だけではない。戦傷を負った夫とそれを介護する銃後の妻を通じて戦場の愚かさを描く。シゲ子を通じた寺島しのぶは、本作の入魂の演技でベルリン国際映画祭最優秀女優賞(銀熊賞)を受賞した。



『11.25自決の日 三島由紀夫と若者たち』

2012年/120分/脚本:掛川正幸・若松孝二/出演:井浦新、満島真之介
自決までの三島と若者たちの魂の軌跡。三島は何を信じたのか。あるいは信じたかったのか。最期の絶叫の瞬間、彼の魂は何を見つめていたのだろうか。
★4/1井浦新、渡川清彦、大西信満

『千年の愉楽』(原作:中上健二)

2012年/118分/脚本:井出真理/出演:寺島しのぶ、佐野史郎、高良健吾、高岡蒼甫、染谷将太、井浦新
昭和の薫りが色濃く漂う集落で若松孝二が描き上げた匂い立つような命、不条理ゆえに美しい命の讃歌。生命の巡りを描いたこの作品が、遺作となった。
★3/28佐野史郎、大西信満

『裏切りの季節』

1966年/76分/監督・脚本:大和屋竺/プロデュース:若松孝二
初期のルパン三世の脚本家としても知られる大和屋竺の初監督作品。"すごいんだよね。今まで俺がやってきた映画作りと違って、映画文法みたいなものをみんながこわしてるのね。まいった"(若松談)

『毛の生えた拳銃』(未ソフト化)

1968年/70分/監督・脚本:大和屋竺/プロデュース:若松孝二
音楽監修は、ジャズ評論の第一人者、相倉久人。司郎(吉沢健)が恋人を襲った手下の復讐のため、ボスを刺し、手を撃った。その組織に依頼された大磨赤児と大久保薫演じる殺し屋コンビがその後を追う。

『夜にほほよせ』(未ソフト化)

1973年/67分/監督・脚本:林静一/プロデュース:若松孝二
政治と暴力が題材となることの多い若松プロ作品としては、異色の青春ドラマ。鈴木慶一(『はちみつぱい』)が、主演のかわ哲と共に音楽を、大島渚監督作品で知られる吉岡康弘が撮影を担当している。



2016年3月26日~4月8日
ポレポレ東中野
TEL 03 3371 0088
www.mmjp.or.jp/pole2/



各回:1300円/3回券:3600円/学生:900円/学生リピーター700円
※3/26(土)特別企画(セレモニー/『若松孝二を語ろう』トーク/『実録・連合赤軍』上映&上映後トーク/ふるまう酒付き)のみ2500円均一です。
※4/1(金)は映画サービデー!各作品1000円です。(『実録・連合赤軍』のみ1800円)